

清瀬市教育大綱



○人は無限の力を持っています。教育はその無限の力を引き出し高める営みです。

○日本を代表する経営者、豊田章男氏は「人を育てることは未来を創ることだ」と述べています。イギリスの第73代首相のトニー・ブレア氏は、施策の優先度を問われた際「education education and education」と応じたと伝えられています。人の力、教育の価値を説いた先人の言葉は限りがありません。

○幸せな人生の創り手、持続発展する社会の担い手を育てるといふ教育の価値や目的は未来永劫変わることはありません。加えてその価値を実現したり、目的を達成したりするためには、子どもや市民と直接関わる自治体の役割と責任が一層重要になります。

○私は市長就任以来、学校教育の充実に鋭意取り組んで参りました。言葉の力や論理的思考力・想像力などを高める学校図書館の充実、民間施設を活用した水泳授業の実施、家庭の経済状況に左右されない学校給食の無償化への取組、次世代のリーダーを育てる中学生の国内派遣の事業化などが代表的な取組です。

○また、生涯学習、社会教育や子育て施策の充実にも全力を傾けてまいりました。いつでもだれでも、どこにいても読書に親しむことができる図書館改革の実現、共働き家庭を支える学童保育の拡充、子どもが生きいきと自分らしく時を過ごすことができる居場所の設置、市民の誰もが気持ちよく学び、健康をつくり、絆を深めるための生涯学習、スポーツ施設の改修などです。

○今、清瀬の教育は、急激に変化する社会においても立ち止まることなく、未来の教育の実現に向けた改革の最中にあると言えます。

○これからますます進むであろう人口減少・少子高齢化、AIを始めとする科学技術の進歩、大規模災害や未知のウイルスによる感染拡大といった予測不能な出来事など、不安定で不確実な社会を生き抜く力を育む学校教育は如何にあるべきでしょうか。

○また「人生100年」といわれる超長寿社会を、健康で生きがいをもって暮らすためには、如何なる生涯学習・スポーツの取組が必要になるのでしょうか。そしていじめや不登校などの健全育成上の課題や、経済格差に伴う体験格差などの社会的課題に対してどう対応してくべきなのでしょう。

○子どもの育ちの根幹を司る自治体の長として、また、約7万5千市民の健幸※を守り、未来永劫発展を続ける清瀬を創る総責任者として、これらの課題に真正面から向き合いながら、このたび、清瀬市教育大綱を新たに策定しました。

○本大綱は、基本理念として「子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育」を掲げるとともに、「誰一人取り残さない社会を創る清瀬の教育」「次世代を担う人を育てる清瀬の教育」「誰もが学び健幸で生きがいをもてる清瀬の教育」の三本の柱と、それに基づく6点の重点目標を位置づけています。

○学校関係者、保護者や市民の皆様はもとより子どもたちに至るまで、すべての方々が新しい大綱に込められた私たちの思いや願いを受け止め、新しい清瀬の教育を創造するためのご支援をいただきたく願っています。

○清瀬市はこれからも我が国の教育を牽引するという志を高く掲げ、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら清瀬の教育の充実・発展に取り組んで参ります。

※「健康」と「幸福」の二つの意味が込められた言葉

清瀬市 新教育大綱の三本の柱と6点の重点目標

基本方針:子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

誰一人取り残さない社会を創る
清瀬の教育

【重点目標1-1】

いじめや不登校、虐待など子どもを取り巻く教育課題を解決します。

【取組の方向性】

命の教育の充実を図るとともに、教師の教育相談力の向上やテクノロジーの活用などにより、様々な教育課題の未然防止、発生後のケアに取り組めます。

【重点目標1-2】

障害や国籍、経済的な背景にかかわることなく、子どもが学び育つ施策を推進します。

【取組の方向性】

人権教育や特別活動の充実を図るとともに、豊かな人間性や主体的な学びを保証する体験活動の場の提供や、子どもが安心して生活できる環境整備に力を尽くします。

次世代を担う人を育てる
清瀬の教育

【重点目標2-1】

未来を見据え、社会の変化に応じた教育の仕組みを導入・運用します。

【取組の方向性】

小中一貫教育制度の導入、コミュニティスクールの一層の機能化、部活動の地域協働の拡充など、次世代の教育を推進するための制度や仕組みを取り入れ、効果的な運用を図ります。

【重点目標2-2】

学校力を高め、激動の21世紀を力強く生きる人材を育成します。

【取組の方向性】

教師の指導力や学校の組織力の向上を図るとともに、ICTの効果的な活用による授業改善を推進することにより、子どもたちが未来を生き抜く認知、非認知能力を育成します。

誰もが学び健幸で
生きがいをもてる清瀬の教育

【重点目標3-1】

すべての人が学び、健幸を追究できる生涯学習、生涯スポーツ環境の充実を図ります。

【取組の方向性】

市民一人ひとりの心の豊かさや生きがい、健康の保持増進や幸せの追求が実現できるよう、官・民協働による生涯学習、生涯スポーツの環境整備を進めます。

【重点目標3-2】

学びやスポーツを通じた循環型社会を創ります。

【取組の方向性】

市民が生涯を通じて学んだり運動したりする中で得た知識や技能を社会に還元できる仕組みを構築することで、育てられた人が時を経て育つ側になる循環型社会を創ります。

(参考)第5次清瀬市長期総合計画・第3次教育総合計画と新教育大綱との関連性

第5次清瀬市長期総合計画・第3次教育総合計画

教育大綱

基本理念	【長期総合計画】ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬
	【教育総合計画】子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

基本目標	施策	方向性
一人ひとりの学びと学び合いの充実	121 学校教育の充実	「確かな学力」を育成します
		「豊かな人間性」を育成します
		「健やかな体」を育成します
		一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります
		教育環境の強化・充実を図ります
	122 地域による子供の育ちと学びの支援	子どもたちの成長を地域で支える機運を高めます
		地域と協働した学校での学びの充実を図ります
		子どもたちの安全な居場所の充実を図ります
	123 生涯学習、文化、芸術、スポーツの支援	世代を超えた学びの機会の充実を図ります
		市民文化・芸術の充実と発展を図ります
		気軽にスポーツ活動に親しめる機会の充実を図ります

基本理念	子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育	
柱		
	【重点項目1-1】 いじめや不登校、虐待など子どもを取り巻く教育課題を解決します	誰一人取り残さない社会を創る清瀬の教育
	【重点項目1-2】 障害や国籍、経済的な背景にかかわることなく、子どもが学び育つ施策を推進します	
	【重点項目2-1】 未来を見据え、社会の変化に応じた教育の仕組みを導入・運用します	次世代を担う人を育てる清瀬の教育
	【重点項目2-2】 学校力を高め、激動の21世紀を力強く生きる人材を育成します	
	【重点項目3-1】 すべての人が学び、健幸を追究できる生涯学習、生涯スポーツ環境の充実を図ります	誰もが学び健幸で生きがいをもてる清瀬の教育
	【重点項目3-2】 学びやスポーツを通じた循環型社会を創ります	

